

インターネット世代を考える ～ゲーム障害とは何か～

入場
無料

1980年代より始まったインターネットの急速な普及は世界中に瞬く間に広がりました。インターネットを通しての情報の共有化が進み、情報化時代と呼ばれ、私たちの生活に浸透しています。この情報に接するための道具も大型のコンピューターから急速に小型化し、各家庭のパソコン、各個人にスマホが行き渡るようになり、最初は青年期に趣味的に使われたものが、全世代、学童期から壮年期へ、さらに幼児期から高齢者に広がっています。こうした流れは私たちの生活を幅広く豊かにしたところもある反面、情報の較差や濫用を産み出し、さらにいわゆる「ネット依存」「ゲーム依存」という形で人間の精神生活に影響を与えて、WHOでは「ゲーム障害」という診断基準を新たに作っています。

少し前まで「テレビ漬け」と言われたテレビ世代は、「ゲーム三昧」のこの世代にどのように向き合えばよいのでしょうか。現在の若者は生まれたときからインターネットや電子機器があっただけでついているデジタル・ネイティブといわれる世代です。その世代をどのように理解しどのように付き合っていくのがよいのでしょうか。

そうした課題に直接向き合う現場からのご報告とそれについての理解について議論を深めて参りたいと思います。

日時

3月10日 日

14:00～17:00

13:30 開場

シンポジスト

東京大学名誉教授
長谷川 寿一 氏

久里浜医療センター院長
樋口 進 氏

愛知県医療療育総合センター中央病院
児童精神科医長
吉川 徹 氏

神戸市立大池中学校校長
西崎 渉 氏

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 精神科医長
和田 慶太

会場

ラッセホール

2F ローズサルーン
神戸市中央区中山手通4-10-8

定員

300人

定員になり次第、締め切らせて
いただきます

座長

兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長
田中 究

兵庫県立こども病院 精神科部長
関口 典子 氏



長谷川 寿一 氏



樋口 進 氏



吉川 徹 氏



西崎 渉 氏

お問い合わせ先【主催】

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 地域医療連携部 担当/古谷

TEL 078-940-5510 (直通) ・ 078-581-1013 (代表)

FAX 078-581-1005 (直通)

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3

後援：神戸市教育委員会

シンポジスト 演題

(講演順)

和田 慶太 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター 精神科医長)
演題 「僕ゲーマーですけど、何か? ~当事者としての治療者~」

西崎 渉 氏 (神戸市立大池中学校 校長)
演題 「学校で、今起きていること」

吉川 徹 氏 (愛知県医療療育総合センター中央病院 児童精神科医長)
演題 「ゲームとネットの豊かな世界 ~子どもたちはそこで何をしているのか~」

樋口 進 氏 (久里浜医療センター 院長)
演題 「ゲーム障害の歴史、定義、実態および治療」

長谷川 寿一 氏 (東京大学名誉教授)
演題 「スマートフォン世代の若者たち—進化心理学の視点から」

お申込方法

申込締切

平成31年3月1日(金)

※手話通訳・要約筆記ご希望の方は2月22日(金)

※空席があれば当日でも入場可能です。

申込方法

「シンポジウム参加」と明記の上、①参加者名(フリガナ) ②参加人数 ③電話番号 を書いて下記へお申込ください

※ 手話通訳・要約筆記ご希望の方は申込欄に○印をご記入ください。

申込先

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 地域医療連携部 担当：古谷

FAX 078-581-1005 (直通)

電話 078-940-5510 (直通) 078-581-1013 (代表)

参加申込書 (FAX用)

参加者名 (複数名記入可)	フリガナ	参加人数	人
連絡先	TEL (日中連絡がつく番号)	FAX	
手話通訳希望 ()		要約筆記希望 ()	

* ご記入頂きました個人情報(フリガナ)は当院において厳重な管理のもと保管し、本講座ご案内の用途以外では使用いたしません。

* 定員を超えて、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

ご参加いただける場合は当院からの連絡はありません。そのまま当日会場へお越しください。

会場

ラッセホール
2F ローズサローン

住所：神戸市中央区中山手通 4-10-8

